

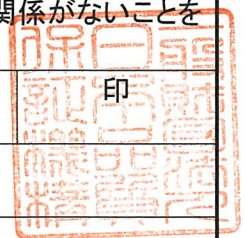
環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会  
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 25 年 1 月 22 日

## 検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

<b>対象プロジェクト名</b>	
オルタステクノロジー高知による COF2 を用いた温室効果ガス排出削減事業	
<b>GHG 検証機関</b>	
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。	
機関名	一般財団法人 日本品質保証機構 (JQA)
担当部署名	地球環境事業部
責任者名	常務理事 矢野 忠行
責任者 E-mail	yano-tadayuki@jqa.jp
責任者電話番号	03-6212-9333
審査員名 <sup>i</sup>	検証担当者 : 滝口 幸次(検証チームリーダー) 外部専門家 : なし レビュー担当者 : 浅川 健一(テクニカルレビュー、プロセスレビュー)
機関要件への合致	合致
<b>検証結果</b>	
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度 妥当性確認・検証ガイドライン Ver. 2.2
事業者との契約日	2012 年 10 月 29 日
モニタリング報告書受領日 <sup>ii</sup>	2012 年 12 月 7 日
検証報告書発行日	2013 年 1 月 22 日
現地検証	期間 2012年 12 月 20 日 (株)オルタステクノロジー高知



		<p>デスクレビュー(フェーズ1検証)の結果に基づき、プロジェクト事業者等に対するヒアリング、書類及び現地確認(フェーズ2検証)を行った。検証ポイントは以下の通りである。</p> <p>&lt;GHGデータ及び情報&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクト活動、排出活動及びモニタリングポイントに係るプロジェクト計画書及びモニタリング計画書との整合性</li> <li>発熱量、排出係数、その他パラメーターの引用</li> <li>データの集計結果</li> <li>排出削減量の算定結果</li> </ul> <p>&lt;QA・QC体制&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニタリング体制及び算定体制</li> <li>モニタリング担当者の力量</li> <li>データチェックの実施状況</li> <li>計測機器の管理状況</li> </ul>				
排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012 (4月1日～11月30日)
	t-CO <sub>2</sub>	—	—	—	—	193
検証結果の要約		<p>一般財団法人 日本品質保証機構(JQA)は、株式会社オルタステクノロジー高知による「オルタステクノロジー高知によるCOF2を用いた温室効果ガス排出削減事業」を対象として、モニタリング期間(2012年4月1日～2012年11月30日)における二酸化炭素排出削減量を検証した。検証の結果、「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス削減プロジェクトモニタリング報告書 Ver.1.2 オルタステクノロジー高知によるCOF2を用いた温室効果ガス排出削減事業」に記載された二酸化炭素排出削減量 193 t-CO<sub>2</sub>は「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書 Ver.1.3」及び「オフセット・クレジット(J-VER)制度に基づく温室効果ガス排出削減プロジェクト計画書別紙 モニタリング計画書 Ver.1.1」に基づいて算定されており、不確かさ及び誤りの合計値が0 t-CO<sub>2</sub>(二酸化炭素排出削減量に対する割合:0%)となり、重要性の判断基準の5%未満であることから、検証意見は無限定適正意見であることを表明する。</p>				

- i 審査担当者、レビュー担当者、外部専門家を含み、それぞれの役割を記載すること。
- ii 検証機関がプロジェクト代表事業者等からモニタリング報告書を受領した日を記載すること(この日を以て当該検証の開始日とみなす)。